

東北地方の『あす』を考える

2018

9/27(木)

15:00-16:30

📍 場所

東北学院大学土樋キャンパス
ホーイ記念館地階ホール

東日本大震災の発生から7年が経過した現在もなお、被災地を中心に復旧・復興に向けた取り組みが行われています。

宮城県石巻市雄勝町を拠点に構えるモリウムス（MORIUMIUS）は、震災復興支援の一環として、建築家隈研吾氏や世界中の建築学生とボランティアの手により築94年の廃校を再生して、2015年から子どもたちが自然との共生を体感し、住民やアーティストなどの外国人との多様な交流を通して、生きる力を育みこれからの時代を担う彼らの学びと町の活性を目指す活動を展開しています。その活動の様子は雄勝地域にとどまらず、日本全国、世界中に発信されています。

今回は、モリウムスの油井元太郎氏をお招きし、活動の一端をご紹介いただくとともに、これまでに取り組んできた地域の復興や活性化をめざす活動についてもお話しいただきます。

今回の講演を通して、本当の意味で地域を豊かにするために、「東北」に住む私たちのために何ができるのかをじっくりと考える場にしたいと思います。

講師紹介

油井 元太郎 氏



1975年生まれ MORIUMIUS フィールドディレクター
アメリカで音楽やテレビの仕事を経て、キッズニアの創業メンバーとしてコンテンツの開発に取り組む。2006・09年に東京と甲子園にキッズニアをオープンさせる。2013年より宮城県石巻市雄勝町に残る廃校を自然の循環や土地の文化を体感する学び場として再生。地域資源をいかしたこどもの教育を通じた町の新生を目指す。
2015年日経ビジネスが選ぶ次代を創る100人に選出。



<お問い合わせ>

東北学院大学災害ボランティアステーション
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1
TEL.022-264-6562 FAX.022-264-6522
E-mail:revolu@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

学生、教職員、一般
どなたでも参加可能です！

事前申込不要
入場無料